

あんじん

小説「按針と家康」が出版されました

前回「西海の霸王」で装丁をさせて頂いた和田さんが自身5作目となる歴史小説「按針と家康」を発行することになり、ありがたいことに今回もカバーと本文のデザインを担当させて頂くことになりました。

三浦按針(ウィリアム・アダムス)といえば青い目の侍というイメージが強く、小説や舞台などで家康のもとで旗本となり活躍するストーリーが描かれてきましたが、今回の和田さんの小説では旗本としての活躍はもちろんですが、晩年に平戸で過ごした姿が生き生きと描かれています。そこでは旗本という重責を終え、かつての航海者に戻ったアダムスがいました。



デザインをするにあたり、和田さんとの打ち合わせの中でやはり航海者のイメージでいくことにして構図も大胆にすることに決めました。作業工程としては鉛筆でのラフから描き込んで鉛筆の線を活かしたままフォトショップで色をつけました。荒々しくもどこか幻想的な雰囲気が出せればと思い制作しました。船はオランダ商館に展示してあるリーフデ号を参考にしています。ちなみにリーフデ号はアダムスが長い航海の末に日本に漂着した時に乗っていた船です。現在リーフデ号の遺構は残されていませんが、船尾に飾られていたエラスムスの木像だけは現存しているそうです。

絵の中で赤い服を着ているのがアダムスでその横にいるのが弟のトーマスです。トーマスは日本に漂着する前に亡くなってしまいますが、小説の中でウィリアムが息を引き取る間にトーマスと航海に出ている幻?を見ます。行き先は本国でしょうか、空にはいつか見た大きな虹がかかっていました。

和田さんの口マン溢れる歴史小説をぜひご覧ください。

店頭販売では佐世保市近郊、金明堂系列の書店にあります。

インターネットでは

楽天市場 <https://product.rakuten.co.jp/product/-/60f7c95f83c4c6c81b9f0a855555573a/>

セブンネットショッピング <https://7net.omni7.jp/detail/1107084927>

au PAY マーケット <https://wowma.jp/item/439104422>

などで購入することが出来ます。

安針と家康

著者 和田隆

青い目の旗本となった航海者の半生。

没後四百年

いま蘇るアダムス!!

第36回佐世保文学賞「西海の霸王」に続く歴史小説。

西暦1600年、オランダの貿易船リーフデ号で奇跡的に豊後国に漂着したイギリス人航海士ウイリアム・アダムス^{ウィリアム・アダムス}徳川家康と出会い旗本「三浦安針」となり幕府顧問として活躍する。本国への帰還を断念したアダムスは、航海者に戻り最後の舞台を西国の平戸に求める。

B6判 / 304ページ / 並製本

定価 1,200円 (税抜)

ISBN978-4-902863-72-7

発行所 芸文堂

お求めは書店または芸文堂へ

佐世保市山祇町19-13 TEL 0956-31-5656